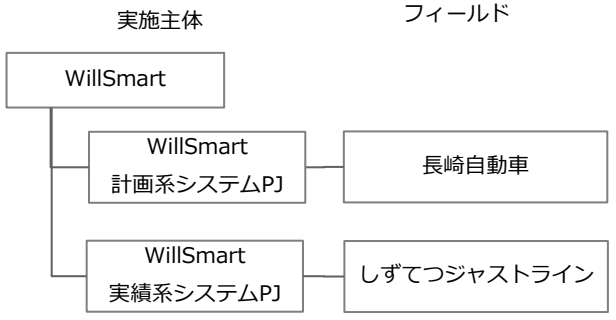
32 バス業務標準仕様に準拠したWEBベース計画系・実績集計系クラウドシステムの新規構築 ｜ 株式会社 Will Smart

プロジェクト概要	業界標準仕様「COMmmmONS」を参考にWeb Base／ペーパーレス等の最新技術仕様を取り込んだバス業界向けパッケージシステムを新規開発する。既存システムに標準化仕様を追加改修するのではなく新規開発により機能拡張性を確保。併せて、バス事業者が求める実務機能を盛り込み、国土交通省が進める政策実行スピードに合わせ試験を完了させ、展開する
課題	個社ごとの個別最適から脱却し、業界共通の基盤となるバス業務標準仕様が定義されたが、機能拡張性を有したシステムやペーパレス実現するWebBase型のデータ標準や汎用製品の活用を前提としたクラウド型システムが限られる。当社が新規開発することでバス事業者が低コストで導入可能なシステムを目指す。
取組内容	バス業務標準化に準拠したバス事業者向け基幹業務プラットフォームをフルスクラッチで開発する。システムは業務毎の機能モジュールに分かれ、既存業務の一部でも導入可能なサービスととする。計画系、運行系、実績集計系の3つのシステムとして開発する。本事業は計画系システムと実績集計系システムについて取り組むものである。 ● 計画系システム： 路線・ダイヤ・車両・乗務員割当の統合管理クラウドシステム ● 実績集計系システム： 実績管理システム、データ処理基盤、乗降実績データ取得モジュール （乗降実績データ標準仕様書に準拠）
事業要件	● 標準業務モデルの導入によるサービス品質向上（標準化） ● データ統合によるモード横断のデータ活用（協業化）
技術要件	● バス業務標準仕様書 ● 乗降実績データ標準仕様書（鉄道・バス）
効果	● 業務標準モデルを参考に経済合理性あるパッケージサービスを展開する。既存システム比較し初期導入費（直接費用）およびデータ更新や運用における人件費などのトータルコストを低減する。

事業実施自治体・エリア	長崎市、静岡市
交通事業者	バス：長崎自動車、しずてつジャストライン
アプリ・システム等	■ アプリ・システム：路線・ダイヤ・乗務員割り当ての統合管理クラウドシステム、実績管理システム ■ データの取得方法： 標準化共通DBサーバー、オープンデータリポジトリファイル取得 ■ データの活用方法： GTFSデータ作成、実績集計

座組



スケジュール

- 8月　システム化要件
- 9-11月　設計・実装・開発
- ＊アジャイル開発/AI駆動型開発
- 12月～1月　実証検証
- 1月～2月　効果測定・評価

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.